

「JR連合ビジョン」と
政策提言の実践を通じて
JR産業の持続的成長と
組合員の幸せを実現しよう!

http://www.jr-rengo.jp



JR連合

JAPAN RAILWAY TRADE UNIONS CONFEDERATION

日本鉄道労働組合連合会

〒103-0022 東京都中央区日本橋室町1-8-10

東興ビル9階

TEL (NTT) 03-3270-4590 (JR) 057-7848

FAX (NTT) 03-3270-4429 (JR) 057-7849

1部20円 (但し組合費に含む)

●発行者 荻山市朗 ●編集者 相良夏樹

facebook

JR連合

twitter

JR連合

JR7単組が「未来を見据えたJR産業のあり方と私たちの働き方」の実現に向けた運動方針を決定

JR東海ユニオン第30回定期大会

対話を丁寧

全員参画で運動を

JR東海ユニオンは7月5日、名古屋市内において、会場を2箇所に分けるなど、新型コロナウイルス感染症防止に向けて最大限の配慮を行ったうえで、約2年ぶりにすべての大会構成員を招集し、第30回定期大会を開催した。

その後、JR連合荻山市朗会長からは「JR産業は経費削減など自助努力も限界となり、何よりも早期の

需要回復が必要。この間政府や政党等に他産別とも連携のうえ働きかけてきたが、JR産業の回復と持続的な発展をめざし、引き続き政策を磨きつつ、組織強化にも取り組んでいく」旨の挨拶があった。またJR東海の東山芳樹副社長からは「

コロナ禍の中でも最大限の収益拡大と、業務改革や費用低減に努め、成長戦略を描く。労使が将来宣言に則り力を合わせ歩んでいく」旨の挨拶があった。

議事では、書面持ち回り形式で開催した昨年度の定期大会等について追認を求めたほか、バーチャル形式等での機関会議開催を可能とする規約・規則改正、2021年度運動方針等が提起され、執行部答弁の後すべての議案が満場一致で採択された。

本大会では、長年、JR東海ユニオン運動を牽引してきた鎌田中央執行委員長、大祐書記長と相良夏樹中央執行委員長、および先のJR

連合第31回定期大会で事務局長を退任した尾形泰二郎特別中央執行委員も退任となった。最後は、新たに選出された尾内裕昭中央執行委員長が団結がんばろうで定期大会を締めくくった。

《新三役》
実務委員長 尾内 裕昭 新
書記長 丸山 知章 再
同 入谷 政治 新
同 鎌田 隆司 新
同 鎌田 新
書記長 今井 孝治 新

真に強い会社にするためには、健全な労働組合のチェック機能が不可欠。会社と共に働くJRユニオンへの結集に向けてJR連合としても取り組む」と訴えた。

議事では2021年度の運動方針等が提起され、質疑・答弁、菅井正和事務局長の集約答弁の後、すべての議案が満場一致で可決された。

最後に、再任された菅野中央執行委員長が団結がんばろうで定期大会を締めくくった。

総団結で運動方針を

着実に実践へ

JR四国労組は7月9日、高松市において第40回定期大会を開催した。代議員、特別代議員ら総勢約110人の出席のもと、スローガンを「団結 創造 実践」を掲げ、2021年度の運動方針を満場一致で決定した。

JR連合からは荻山会長が出席し、連合香川の森信夫会長、四国交運労協の砂田篤志議長、JR四国の西牧世博社長、ジェイアール四

国バスの吉良次雄社長らが来賓として駆けつけた。冒頭の挨拶で大谷清執行委員長(JR連合副会長)は「安全・安定・安心輸送の確立」組織の強化・拡大「労働環境の改善」の3本柱に沿った所信を述べるとともに、「会社がコロナ禍とい

う苦難を乗り越えようとしている中、JR四国労組も社会変容に対応しなければならぬ。組合員が総団結

し運動方針を着実に実践することで、組合員と家族の幸せに繋げよう」と訴えた。また、挨拶に立った荻山会長は、新たに策定した政策提言「未来を見据えたJR産業のあり方と私たちの働き方」に触れつつ、「J

R産業が国や社会を支える役割を持続的に果たし続けるために、私たちは社会変化に対応しこの難局を乗り越えなければならぬ」と力強く訴えた。

議事では2021年度の運動方針等が提起され、29人の代議員、特別代議員から質疑を受け、嶋田剛好書記長の総括答弁の後、すべての議案が満場一致で可決された。

また、役員改選では幸大副執行委員長、嶋田書記長らが退任し、大谷執行委員長を中心とする新たな役員体制を確立した。

最後に、大谷執行委員長が団結がんばろうで定期大会を締めくくった。

《新三役》
執行委員長 大谷 清 再
副執行委員長 武智 義治 新
書記長 中村 鉄平 新

JREユニオン第9回定期大会

会社に向き合い仲間を増やすべく行動を

JREユニオンは7月9日、東京をメイン会場に、仙台と新潟の会場をWEB会議ツールであるZoomにて結び、第9回定期大会を開催した。

スローガンには「組織の総力をあげて難

局を乗り越え、私たちの掲げた「会社と共に」の実践から会社の持続的成長と組合員・家族の幸せを実現しよう」を掲げ、2021年度の運動方針を満場一致で決定した。

JR連合からは、政所事務局長と中山耕介特別執行委員長がメイン会場に駆け付

けたほか、宮野勇馬企画部長と相良組織部長がリモート形式で出席した。冒頭の挨拶で菅野一位中央執行委員長(JR連合副会長)は「コロナ禍でJR産業が危機に陥る中、JR東日本も大幅な赤字決算となり、人件費にも手を

付けるような状況となっている。このような中で労働組合の必要性を実感する社員も多くいることが分かった。過去に回帰しない形で会社に向き合い、組合員の

不安を解消していくことのできる労働組合は、会社と共に働く私たちが行動を実践していく」と決意を述べた。

JR連合から挨拶に立った政所事務局長は「JR産業で3兆円の売り上げが消失しており、政策面の重要課題として早期の需要回復に向けてしっかりと取り組む。JR東日本では、様々な施策を言わば会社が一方的に進めている。安全を守り、

最後に、再任された菅野中央執行委員長が団結がんばろうで定期大会を締めくくった。

《新三役》
実務委員長 菅野 一位 再
副執行委員長 国井 道徳 再
同 秋山 順一 再
同 添田 寿男 再
同 瀬藤 正樹 新
事務局 菅井 正和 再

JR北労組で2人が新たに加入

JR北労組に、2人の仲間が誕生した。1人は新入社員で、研修期間中の他労組の強引な勧誘に違和感を覚える中、自由で民主的なJR北労組の存在を知り、加入した。もう1人はジェイアール北海道バスで働くスタッフ社員で、複数の組合が存在する中、自らの意思で加入した。

これらは、私たちの運動を様々な場で伝えてきたことの一つの成果であり、引き続き魅力ある組織作りに取り組んでいく。



JR四国労組第40回定期大会



JREユニオン第9回定期大会

貨物鉄産第37回定期全国大会 政策課題解決の取り組みを通じ 会社のパートナーに

貨物鉄産労は7月10日、静岡市において第37回定期全国大会を開催した。リモートによる出席を含めた総勢15人の参加のもと、「労使が一体となり、コロナウイルス感染症拡大という難局を乗り越えよう」をスローガンに掲げ、2021年度の運動方針を満場一致で決定した。

冒頭、執行部を代表して挨拶に立った大杉正美中央執行委員長(JR連合副会

長)は、新型コロナウイルス感染症の影響について触れつつ、「JR貨物が事業を営む仕組みを勘案すれば、まずは旅客会社が元気にならなければならぬ。JR連合の一員として公租公課の負担軽減などの政策課題の解決に取り組む」と述べる

とともに、「アボイダブルコストルールや貨物調整金制度に係る課題など政策課

題が山積しており、政策課題解決の取り組みを通じて私たちが会社のパートナーとして選ばなければならない」と訴えた。

JR連合からは、政所事務局長、森安祐貴交通政策部長が出席し、挨拶に立った政所事務局長は、「コロナ禍という異常事態下においてこそ、安全と人を守る取り組みを意識的に、職場の風通しを良くする取り組みが必要。また、JR貨物グループの将来のためにも、政策と組織の力を高めていく必要がある。これまでの提言内容に加え、新たに策定した「未来を見据えたJR産業のあり方と私たちの働き方」を一層磨きあげ、実現を図り、JR連合への総結集に繋げていく」旨を述べた。

議事では、代議員から「組織の強化・拡大」「政策課題の解決」「人材の育成」などの質疑があり、執行部答弁の後すべての議案が満場一致で採択された。最後に、役員改選で再選された大杉中央執行委員長が団結がんばろうで締めくくった。

《新三役》
実務委員長 大杉 正美 再
副執行委員長 小笠原浩文 再
書記長 辻村 和裕 再



JR東海ユニオン第30回定期大会



貨物鉄産第37回定期全国大会



交通労協第26回交通運輸政策研究集会 交通運輸・観光産業の 持続的発展に向けて討論



コロナ禍での取り組みや今後の各産業の持続的発展について討論が進められたパネルディスカッション

交通労協は6月30日、東京都港区において、コロナ禍により2年ぶりとなった第26回交通運輸政策研究集会を開催した。J R 連合からは、荻山会長（交通労協副議長）が交通労協の政策委員長として参加したほか、政務事務局長をはじめとする7人が出席した。

冒頭、住野敏彦議長からは、「交通運輸・観光産業は転換期を迎えており、これまで以上の連携・協働のもと、政策実現に向けて取り組む」との挨拶があった。その後、国土交通省の久保田雅晴公共交通物流審議官から交通政策や物流政策の今後の展望についての基調講演があり、J R 連合より交通労協に派遣している慶島譲治事務局次長からは、コロナ禍における交通労協の取り組みの報告がなされた。

後半のパネルディスカッションでは、荻山会長が交通労協政策委員長としてコーディネーターを務め、交通労協顧問の戸崎肇美林大教授や私鉄総連・航空連合・サービス連合の代表者、各産業の持続的発展に向けた政策について討論を行った。J R 連合は、本研修会において得られた知見も活かし、引き続きJ R 産業の持続的発展に向けた政策実現に取り組んでいく。

J R 九州労組第30回定期大会 コロナ禍で不安を抱える 組合員に寄り添う

J R 九州労組は7月16日、北九州市において第30回定期大会を開催した。代議員特別代議員ら総勢約100人の出席のもと、スローガンを掲げ、2021年度の運動方針を満場一致で決定した。J R 連合からは荻山会長、政務事務局長、来賓に連合福岡藤田桂三会長、J R 九州労組議員団会議団長松尾哲也大牟田市議、遠田孝一市田町長らが出席した。

冒頭の挨拶で中原博徳中央執行委員長（J R 連合副会長）は「安全の確立」「政策課題の解決」「組織の強化・拡大」の3点に触れ、コロナ禍で不安を抱える組合員に寄り添い、不安の解消に向けて強固な組織運営を推進し、J R 連合ビジョンを着実に実践していく決意を述べた。

また、J R 連合から挨拶した、役員改選では長年にわたりJ R 九州労組運動を牽引してきた中原中央執行委員長らが退任し、芦原中央執行委員長を中心とする新たな役員体制を確立した。



J R 九州労組第30回定期大会



J R 北労組第19回定期大会

Tや要請行動等の取り組みにより利益剰余金を活用した支援策が延長・継続されたが、あらためて持続可能な交通体系を構築し、経済

J R 西労組第33回定期中央本部大会 団結と絆で 難局を乗り越えよう

J R 西労組は7月15日、奈良市において第33回定期中央本部大会を開催した。代議員ら約150人の出席のもと、2021年度の運動方針を満場一致で決定した。J R 連合からは荻山会長、政務事務局長、

宮野企画部長が出席し、連合奈良の西田一美会長、奈良県交通労協の橋本義之副議長、荒井正吾奈良県知事、仲川けん奈良市長らが来賓として駆けつけた。また、三日月大造滋賀県知事からは「J R 産業が国や社会を支える役割を積極的に果たし続けるため、私たちは社会変化

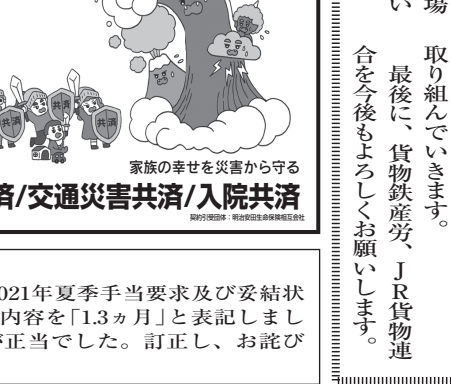
がなされた。さらに大会終了後、J R 西日本の長谷川一明社長も来場した。冒頭、上村良成中央執行委員長（J R 連合副会長）は、安全確立、社会変容の対応等について、「団結と絆でこの難局を乗り越えよう」と力強く訴えた。

また、荻山会長は、「J R 産業が国や社会を支える役割を積極的に果たし続けるため、私たちは社会変化に対応し、この難局を乗り越えなければならぬ。今こそ企画提案運動を」と力強く訴えた。

議事では2021年度の運動方針等が提起され、本会議15人に加え、J R 西労組を特徴づける各小委員会（組織・財政小委員会22人、業務小委員会30人）においても熱い質疑を受け、

最後に、再任された上村中央執行委員長の団結が、ばらうで難局に打ち勝つ誓いを新たにした。

《新三役》
中執行委員長 上村 良成 再
実務委員長 本田 雅明 再
同 白壁 靖子 再
書記長 羽野 敦之 再



J R 北労組第19回定期大会 コロナ禍での加入は大きな成果

J R 北労組は7月10日、札幌市において第19回定期大会を開催した。大会では2021年度運動方針を確立するとともに、J R 北海道における社員の離職問題について「J R 北海道における離職防止に向けた提言

を採択した。また、新規加入した仲間が紹介され、満場の拍手で歓迎し、さらなる組織拡大に向け意思統一が図られた。

冒頭、挨拶に立った昆弘美中央執行委員長（J R 連合副会長）は「この間のP

「経営自立に向けては地域

と、パートナーシップが重要。踏み込んだ話をしていくために労働組合側がより議論をリードしていくべき。また、持続的に人材を確保していくためには離職防止の取り組みは重要であり、J R 連合としてもしっかりと向き合っていく」と連帯の挨拶を行った。

質疑では、特に「J R 北

海道における離職防止に向けた提言」について、賃金制度の見直しに対する確認や要望の意見が出された。その後、執行部からの答弁を経て、人見圭一書記長からの総括答弁を行ったうえで、すべての議案が満場一致で承認され、最後は昆中央執行委員長が団結が、ばらうで定期大会を締めくくった。

日頃より、貨物鉄産労への激励や心温まるお言葉・ご支援を頂き誠にありがとうございます。中央本部執行委員の小山です。

私は、1993年にJ R 貨物に入社し、現在は西浜松駅で輸送業務を担当しています。組合業務ではJ R 貨物連合事務局次長とJ R 連合グループ労組連絡会エリア担当をしています。

役員紹介



貨物鉄産労中央本部
執行委員
小山 達礼 さん

7月3日、静岡県熱海市伊豆山地区で大規模な土石流が発生し、甚大な被害が出ました。謹んでお悔やみ申し上げます。静岡県在住の私にとりて、非常に身近な災害であり、地域防災組織である水防団に所属している者として、改めて自然の恐ろしさを実感しました。災害により鉄道設備に被害が出れば、J R 産業に多大な影響を及ぼします。昨今、頻りに言われている災害に強い鉄道強化に向けても組合・防災組織ともに鋭意に取り組んでいきます。

最後に、貨物鉄産労、J R 貨物連合を今後もよろしく願います。

みんなで暮らしをガード
交通共済 (JR職域生活共済)
全国交通運輸労働組合連合会生活共済連合会

自然は強い。共済も強い。

家族の幸せを災害から守る
火災共済/地震風水害共済/交通災害共済/入院共済

《訂正とお詫び》
本紙第629号(7月1日)の「2021年夏季手当要求及び安結状況表」で、J R 西労組の安結内容を「1.3ヵ月」と表記しましたが、「1.3ヵ月+3万円」が正当でした。訂正し、お詫びいたします。

た、役員改選では長年にわたりJ R 九州労組運動を牽引してきた中原中央執行委員長らが退任し、芦原中央執行委員長を中心とする新たな役員体制を確立した。

最後に、芦原中央執行委員長が団結が、ばらうで定期大会を締めくくった。

《新三役》
中執行委員長 芦原 秀己 新
実務委員長 木村 智隆 再
同 北村 公次 新
書記長 吉田 祥司 新